

創立116年 不易と流行を兼ね備えた遠高を目指して

校訓 **修徳尚武** 校是 **師弟一如**

校長 岩淵 信義

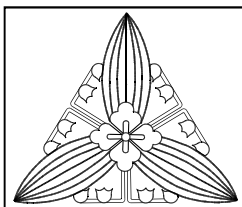
本校は、1901年(明治34年)5月19日、20世紀最初の年に旧制中学として開校しました。創立116年をむかえる県内屈指の伝統と歴史を有する学校です。ここ遠野に他の地域に先駆けて学校ができたのは、遠野の人々の教育にかけける熱い想いがあったからです。ついでに言えば創立から遡ること約50年前の1853年(寛永6年)には、「信成堂」という学問所を創設したという歴史もあります。これは一関の教成館、盛岡の作人館に次ぐ県内でも早期の創設であり、そこでは、武士だけでなく農民や町民の子どもたちも一緒に学び、卒業生は私塾や寺子屋で教育を行うという画期的な取り組みをしていました。これらのことは、当時の日本において実に先進的な見地に立っており、当地の人々の「教育」に対する熱い思いを証明するものです。

今日、少子高齢化や地方の衰退に歯止めがかからず、本校をとりまく環境は創立時と似た状況にあります。「教育」が国造り、地域造りの基本であることは疑いようもありません。そういう意味で本校の使命は重要であると言わざるをえません。

創立記念日の意義は、本校の歴史を振り返り、まさに「故(ふる)きを温(たず)ねて 新しきを知る」とともに今日を見据え、未来へと目を向けることでもあります。生徒諸君においては、以下に示す「本校の目指す学校像」を個人としても、また学校全体としても具現化するのだという決意を新たにすることが日であってほしいと思います。

本校の目指す学校像

- 1 「地域とともに歩む」学校
- 2 「満足度の高い」学校
- 3 「時代の先を行く」学校
- 4 「修徳尚武」(校訓)、「師弟一如」(校是)に基づく高い徳性と文武両道を実現する学校
- 5 「遠野郷の人材は遠野で育てる」と「磨けば光る遠高生」をモットーに生徒の多様な能力の開発と伸長を追求し、保護者や地域から信頼される学校



校章の由来

本校校章は、第39回卒業生である永田守氏(東京美校出身)の考案。昭和24年の新学制施行とともに採用している。

武田菱(中央部分)

遠野南部家の裏紋。旧中学校の校章に由来。

スズランの花(外側部分)

物見山に咲く可憐な花。旧女学校の校章に由来。

資料

校訓「修徳尚武」について

遠野高等学校創立110周年10年小史

協賛会長挨拶「百年史ご挨拶」より抜粋

本校は、明治34(1901)年4月1日に生徒を募集し、入学者106名、池田貞雄初代校長、職員8名をもって、当年5月1日に授業が開始されました。5月19日に開校式を挙行し、この日をもって創立記念日としました。ここに至るまで、遠野郷の人々のたいへんな熱意とご尽力に敬意を表します。

(中 略)

遠野高校の校訓「修徳尚武」は、徳を修め、武を尊び、心身ともに豊かになることであります。人間としての生き方、あり方を身につけるために学問をし、心を磨き、身体を鍛えることによって成長することにあります。これこそ遠野郷の人々と山奈宗真の県立中学校設立への想いでありました。この精神を貫きつつ、世界を見つめ広い視野をもって飛躍することを願っております。遠野高校の発展と新しい歴史と創造を期待しております。

岩手県立遠野高等学校 創立110年記念事業協賛会 昆 弘盛

☆遠高WATCHING☆



入学式
(H29. 4. 7)



新入生歓迎会
部紹介
(H29. 4. 10)



新しい『遠野物語』
を創るプロジェクト
開講式
(H29. 4. 25)

